

【SⅡ-3】 PCB を含む残留性有機汚染物質（POPs）の循環・廃棄過程の管理方策に関する統合的研究（2018～2020）

研究代表者 酒井 伸一（京都大学）

1. 委員の指摘及び提言概要

全体をよくコーディネートしている。計画通りの成果を出せている。システマティックに進め、新たな学術的知見が得られているし、行政的にも有用な情報が得られている。国内対象の研究（PCB など）と、グローバルな貢献（POPs など）を意識した研究との連関を考慮する必要があると思われる。国際的立ち位置をもう少し表現できると良い。実際の処理施設地域での Data が整理できるのか課題である。

2. 評点

総合評点：A